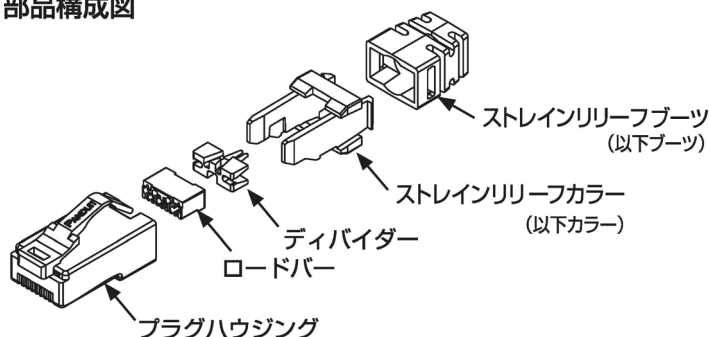


T568B成端手順

部品構成図



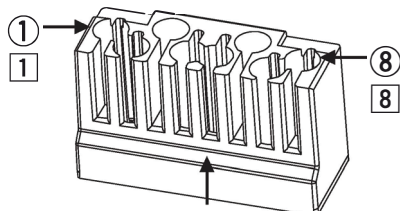
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568B	茶	茶白	緑	青白	青	緑白	橙	橙白

■成端仕様

- 外被覆外径最大 6.60φmm～8.00φmm
- 心線径 AWG23 および AWG24 の単線
- 心線絶縁径最大 1.2192 φmm
- T568B 結線は茶色対の対角側が橙色対
- 使用するケーブルの仕様に合うか事前にお確かめのうえ、ご使用ください。
- *バンドウイット製 Cat6A ケーブル「PUL6AHD04BU-EG」には使用できません。PUL6AHD04BU-EGにはかんたん成端モジュラープラグ「FP6X88MTG」を使用してください。
- 圧接は MPT5-8AS を使用

ロードバー

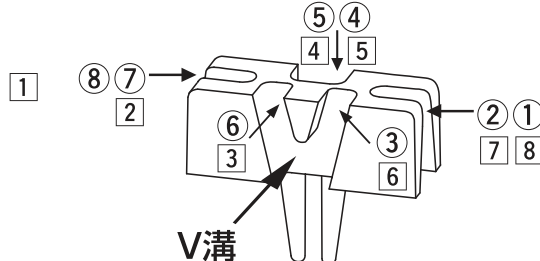
挿入時の向きに注意して下さい



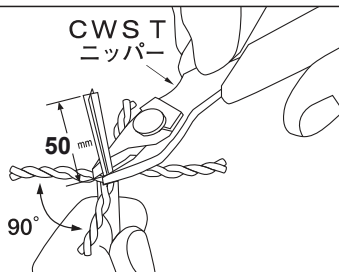
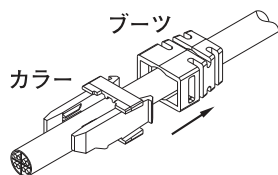
コンタクトが貫通する8個の溝

ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



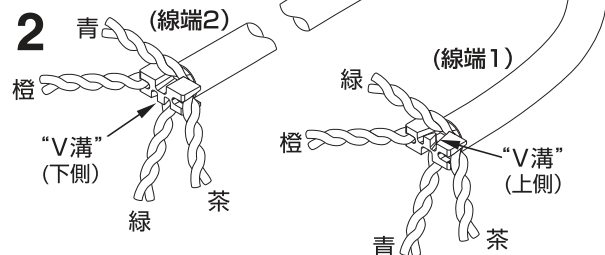
1



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ケーブル端から50mmほど外被覆をむきます。
- ◆AXテープを剥がして導線を取り出します。
- ◆各対を十字方向のように開きます（放射状）。
- ◆中央に介在物（十字介在）がある場合には導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

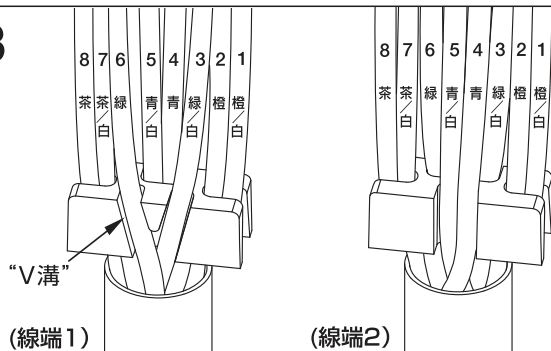
2



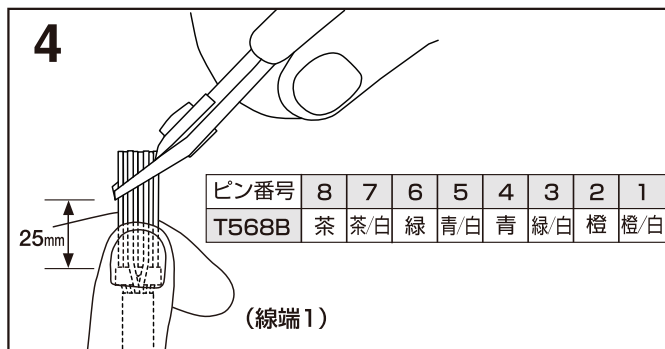
◆ケーブルの両端では構造が異なります。

- ◆両端の橙色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と緑色対の位置が逆になります。
- ◆ディバイダーのV溝が緑色対に合うようにしてください。

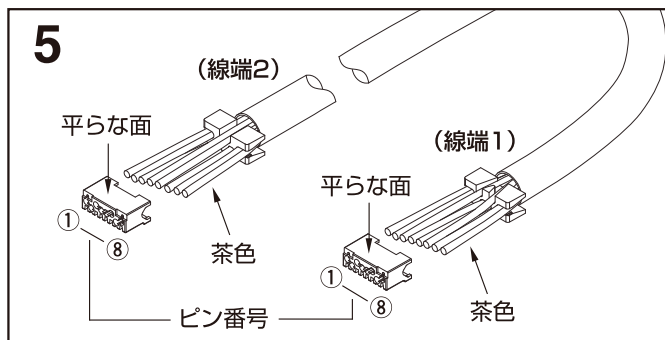
3



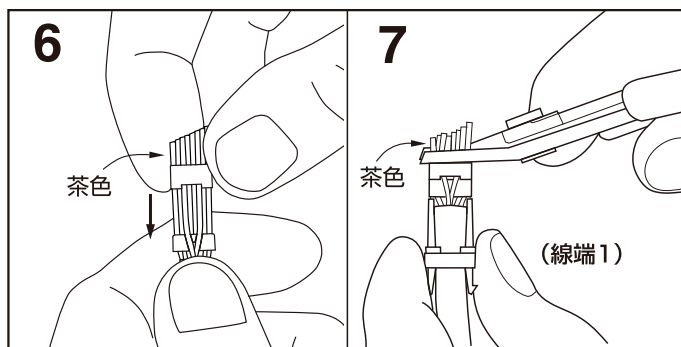
- ◆各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆橙色対は対角側の溝に橙色を先に後から橙白をハメ込みます。（7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む）
- ◆青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆緑色対はもう片面のV溝となっている3番側が緑白で6番側が緑色となるように色合わせをします。（4番、5番と3番、6番の溝に合わせる）



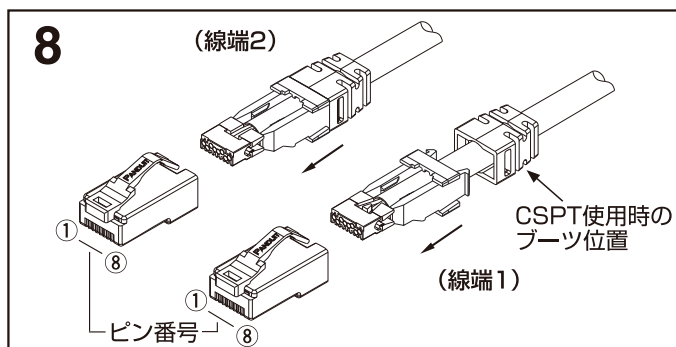
- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
 - ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)
- ☆挿入を補助するCSPT 工具があります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないでください。



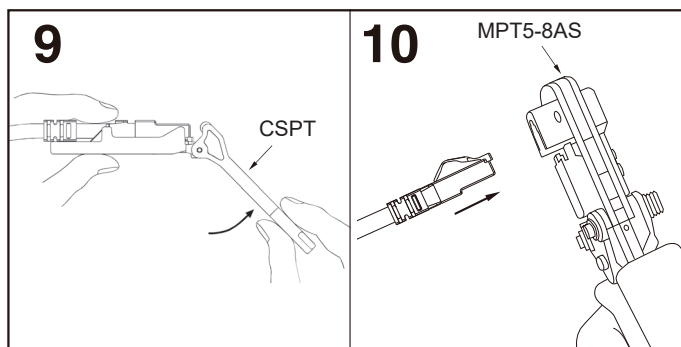
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっている事を確認してロードバーを挿入します。



- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らの面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



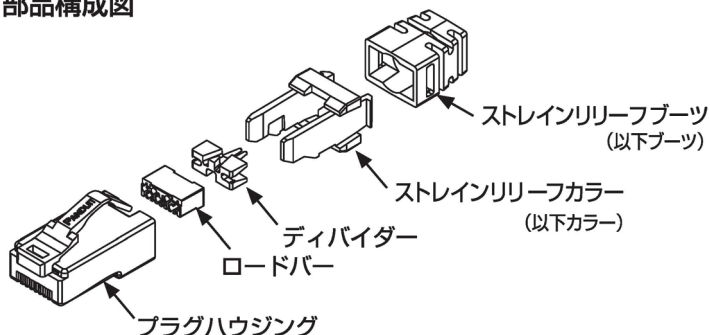
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆挿入を補助するCSPT工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。



- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。

T568A成端手順

部品構成図



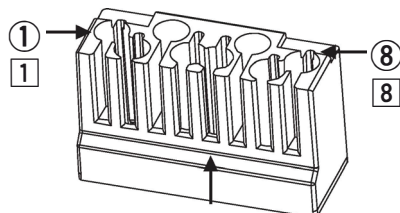
ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青/白	青	橙/白	緑	緑/白

■成端仕様

- 外被覆外径最大 6.60φmm～8.00φmm
- 心線径 AWG23 および AWG24 の単線
- 心線絶縁径最大 1.2192 φmm
- T568A 結線は茶色対の対角側が緑色対
- 使用するケーブルの仕様に合うか事前にお確かめの上、ご使用ください。
- * バンドウイット製 Cat6A ケーブル「PUL6AHD04BU-EG」には使用できません。PUL6AHD04BU-EGにはかんたん成端モジュラープラグ「FP6X88MTG」を使用してください。
- 圧接は MPT5-8AS を使用

ロードバー

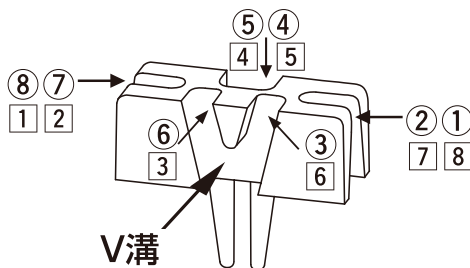
挿入時の向きに注意して下さい



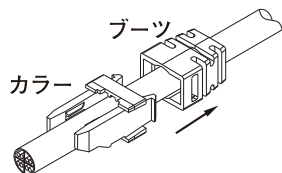
コンタクトが貫通する8個の溝

ディバイダー

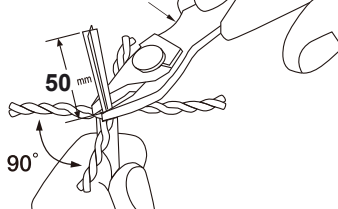
V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



1



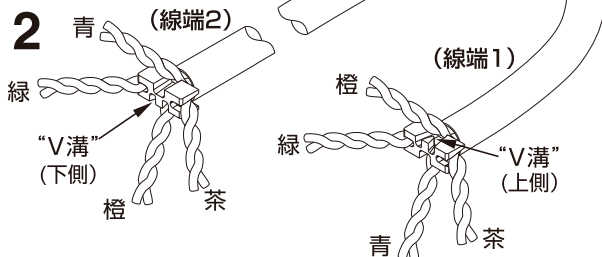
CWST
ニッパー



◆ブーツとカラーを最初に挿入します。

- ◆ ケーブル端から50mmほど外被覆をむきます。
- ◆ AXテープを剥がして導線を取り出します。
- ◆ 各対を十字方向のように開きます（放射状）。
- ◆ 中央に介在物（十字介在）がある場合には導線を曲げた根本から4mmほどの所でカットします。

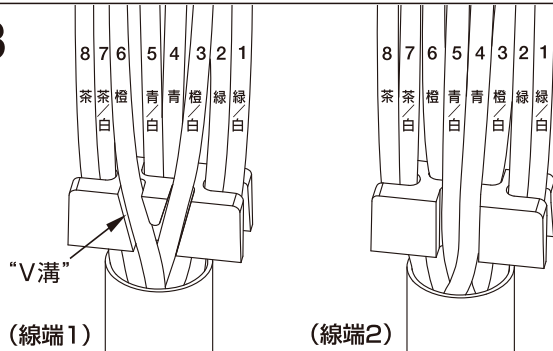
2



◆ケーブルの両端では構造が異なります。

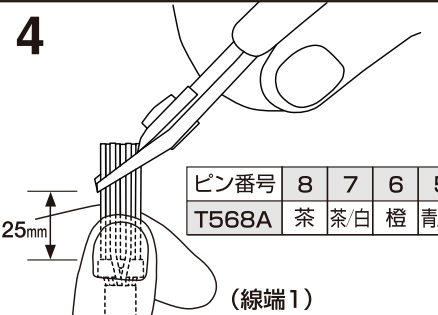
- ◆ 両端の緑色対と茶色対の位置を合わせると、青色対と橙色対の位置が逆になります。
- ◆ ディバイダーのV溝が橙色対に合うようにしてください。

3



- ◆ 各対をディバイダーの所までよりを戻します。
- ◆ 茶色対をディバイダーの茶色側溝に茶白を先に茶色を後からハメ込みます。
- ◆ 緑色対は対角側の溝に緑色を先に後から緑白をハメ込みます。（7番、8番と2番、1番の溝にハメ込む）
- ◆ 青色対をディバイダー中央小さい方の溝に4番側が青色で5番側に青白となる所で色合わせをします。
- ◆ 橙色対はもう片面のV溝となっている3番側が橙白で6番側が橙色となるように色合わせをします。（4番、5番と3番、6番の溝に合わせる）

4

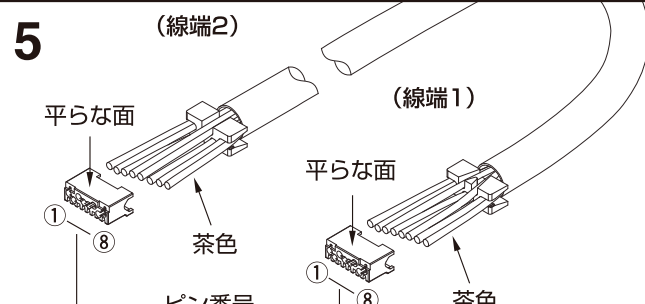


ピン番号	8	7	6	5	4	3	2	1
T568A	茶	茶白	橙	青白	青	橙白	緑	緑白

(線端1)

- ◆ ディバイダーを押さえながら各対のよりを戻して導線を真っ直ぐに伸ばします。
- ◆ 1番から8番ピンまで一列にしてディバイダーから25mmほど空けて導線を斜めにカットします。(ロードバーの挿入が容易になります)

5



(線端2)

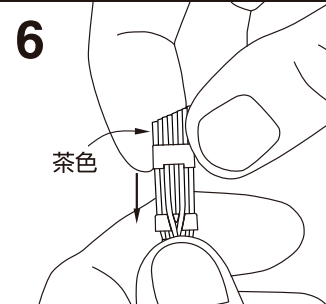
平らな面

茶色

ピン番号

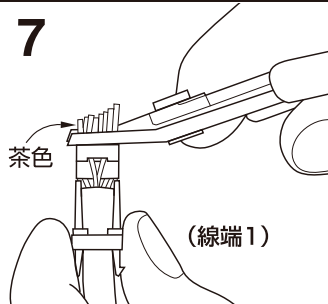
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーを持ち、ロードバーの平らな面が表になっていることを確認してロードバーを挿入します。

6



茶色

7

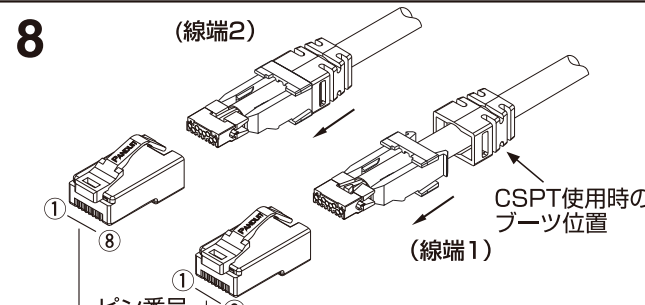


茶色

(線端1)

- ◆ ディバイダーとのすき間が出来ないようにしっかりと挿入します。
- ◆ 1番と8番の導線を少し外側に曲げます。
- ◆ 左側が茶色となるようにディバイダーとロードバーを押さえながらカラーの平らの面を表にしてディバイダーまで引き寄せてから、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。

8



(線端2)

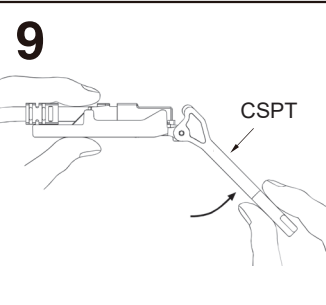
CSPT使用時のブーツ位置

(線端1)

ピン番号

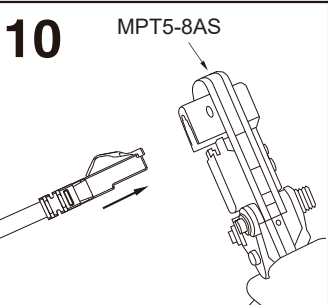
- ◆ 図のようにカラーの向きを確認してハウジングに挿入します。
- ☆挿入を補助するCSPT工具が有ります。この工具を使用する時にはブーツは装着しないで下さい。

9



CSPT

10



MPT5-8AS

- ◆ CSPT を使用して、ラッチするまでカラーを押し込みます。
- ◆ 圧着工具 MPT5-8AS を使用して一括圧接します。
- ◆ ブーツを装着して成端完了です。